

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 遠藤家之進正和

新潟県山岳協会

新潟市南区鷺ノ木新田1049

TEL 025-362-5004

事務局 謙訪恵一

長岡市高畠町610-10

TEL 0258-35-4373

編集

新山協ニュース編集委員会代表 浅野亘寛

TEL 0258-52-3998

第62回国民体育大会山岳競技会

新潟県第1次予選会

(クライミング) を終えて――

審判長 今井浩二

(ジュニア委員長 KCC)

去る4月22日、妙高国際アーチドア専門学校において、ジユニアスポーツクライミング大会を終えた午後、同会場においてクライミング競技の国体予選会が行われた。

各団体のご理解とご協力のおかげで少しずつクライミング人口は増えつつある。毎年行われる、新潟カップでは數十人の参加者がある。しかし、「国体予選」という名前がつくと、話は全く異なる。強い選手が参加するということもあり、多くのクライマーが遠慮し、例年、参加者が少ない



という状況が続いている。今年度も参加者は少なかつたが、ジユニアスポーツクライミング大会を終えた午後、同会場においてクライミング競技の国体予選会が行われた。

方式で、2本のルートを登り、到達点の合計で順位を決定した。なお、選手のレベルの向上から、成年男子用にスーパー・ファイナル用のルート(5・13b)も用意した。

少年男子は5・11aと5・11cの2本で勝敗を競った。

1本目の完登が大山と渡辺、綱島も1手違いの好位置に付けた。勝敗は2本目

で決着した。1本目

完登の渡辺は着実に高度を稼ぎ、終了点まで達した。しかし、そこで時間切れとなつた。大山も検討したものの、終了点まであと1手のところま

で達したが、フォール、渡辺が高校1年にして優勝を飾った。少年女子は昨年度の国体出場を果たした塙本が安定した登りで2本を完登し優勝した。成年男子は5・11cと5・12bのルート。さすがに全国レベルの選手がそろつており、3人が2課題とも完登し、スーパー・ファイナルで勝敗するレベルの高い大会となつた。出だしはバターンを利用したボルダリング的な難度、選手は苦しめられた。そこを抜け出したのは平嶋1名、着実に高度を稼ぎ、ルート上部にあるランジのところで惜しくもフォール。しかし、堂々の優勝を決めた。

【大会成績】

少年男子優勝	渡辺
少年女子優勝	塙本
成年男子優勝	平嶋
成年女子優勝	片桐

菜々香
元
麻由子

少年やジユニアの選手もぜひ学んでほしい。

最後に、今回は午前にジュニアの大会、午後に国体予選を実施したが、1本目と2本目の間の時間が短く、選手の回復が十分困難なのではなかという心配があった。可能であれば、この2つを一つにまとめ、進行していく方が選手にとって良いのではないかと感じた。

腰痛・肩こり・冷え・筋力低下

細菌衛生・さい帯血保管 等

総合健康医療センター

メディカル ユングフラウ

電話 090-3173-0540

第8回 新潟県ジュニアスポーツ クライミング大会を終えて

ジュニア委員長 今井浩二 (KCC)

去る4月22日、妙高国際ア

ウトドア専門学校において新潟県ジュニアスポーツクライミング大会が開催された。小

学校低学年から中学生まで4カテゴリーに別れて技能を競つた。参加人数は24名、小学生はトップロープ方式・中学生はリード方式でいずれもオンラインで2本の合計到達点の合計で順位を決定した。

小学校4年生以下の部のグレードは5・8と5・9。女子では、1本目を頭師、千田、田中が完登。2本目で最も上まで登った田中が優勝。男子は田中と佐藤が2本の合計記録が同じということで、スリーパーファイナルを実施。佐藤が競り勝った。

小学校5・6年のグレード

は5・9と5・10b。島岡、南雲、柿村の3名が1本目、2本目ともに完登し、5・11aのルートでスリーパーファイナルを実施し、島岡が最高度を稼ぎ優勝。



ジュニアクライミング大会参加選手達

中学生男子は5・11aと5・11cの2本で勝敗を競つた。1本目はただ一人、山川が粘り強いクライミングで完登した。2本目は完登者がでなかつたものの、清水が着実に高度を稼ぎ、参加者中の最高到達点に達した。山川が1本目のパンプがぬけず、2本目が不本意な結果に終わつたため、2本目に検討した清水が優勝を手にした。

中学生女子は5・10bと5・11aの2本。1本目太田が余裕の完登。2本目も完登を逃したもののが強さを見せつけ、2位以下を大きく離して優勝した。今後の活躍が期待できる。

今回の大会は、参加者にで

きるだけたくさん登つてもらおうということで、予選・決勝という形をとらず、全員が2本登り、その到達点の合計で順位を競つた。グレードを設定する際、1本目は半数以上の人人が完登、2本目は1人程度完登するよう意図したが、小学校の高学年を除き、1本目の完登者が少なかつた。

それについては次のことが考えられる。
①オブザベーションの際に、十分な観察ができていなかつたこと。
②持久的な練習が不足しており、クライミング力が最後まで持続しなかつたことの2点が考えられる。

参加選手のボルダリング能力から考へると、当初意図したような完登者があつても良かったと思う。今後はリードクライミングもボルダリングも両方の力を高めていく必要がある。普段のボルダリング

の練習に加えてリードクライミングを意識した練習を考えていってほしい。

【大会成績】

小学校4年生以下
・男子優勝 佐藤 克樹
・女子優勝 田中 千華

中学校5・6年生以下
・男子優勝 清水 貴大
・女子優勝 太田 吹雪

平成19年度

評議員会 概要

第4号議案 その他

とき 平成19年4月7日(土)
13:00~14:40

ところ 上越市・ホテル

センチュリーアイカヤ

1. 開会 (開会に先立ち、

顧問に對して黙禱を捧げる)

3月29日に急逝された望月

2. 会長挨拶 橋本正巳

3. 議長選出 執行部一任を

受け、糸魚川山岳会

藤卷道夫氏に委嘱する。

4. 議事

第1号議案 平成18年度事業報告及び会計報告について

評議員会議案書に基づき、

諒訪事務局長より説明があ

り、承認された。

第2号議案 平成19年度事業計画及び收支予算について

評議員会議案書に基づき、

諒訪事務局長より説明があ

り、承認された。

第3号議案 役員改選

今年の秋田わかすぎ国体も配布した内容で実行の予定。5年後には国体山岳競技も見直しをされる可能性がある。また、来年からの国体山岳競技は、リード競技とボルダリング競技となり、新しい規則集は配布された資料を参考としていただきたい。(水落委員長代理)

糸魚川では、架設されたクライミングボードは10年

交流登山 「韓国の想い出」

道峰山740m弥彦の兄ちゃん位の高さだから膝の不安もあるけど、ゆっくり行けば登れるかな！と参加させていただいた。

韓国も道峰山も初体験、岩山だけど日本の岩と違う。つるん、ごろんの巨大な岩が無造作に積み上げられて今にも落ちてきそう（地震がないので大丈夫とのこと）。足場はあるけど届かない。上から下りているロープが、まさに命綱。足の筋肉より上腕の筋肉痛が一番ひどい。

あーっ! 新潟古町なんてもんじゃない。東京銀座か新宿か、みたいに登降が多いので、はぐれないように必死で前の人姿を追って降りたら、前のめりに転んだ、ヒヤリ。すぐ前の人があぶつかっても、どっしりしてたので助かった。ひとつ間違えば将棋倒しになるところだった。私が転んでも動じなかった人、振返った顔は松田聖子を理知的にしたような若い子だった。感謝。何か言われたけど言葉分らず。「大丈夫?」と言つたらしい。近くにいた昌元山岳会の人が親指を出して「ネー」と身振りで教えてくれた。「ネー」は「ハイ」と後で知った。

初日の夕食会。金前々会長宅へ行くまでの車の洪水にビックリ。会長宅で上流の生活を垣間みてビックリ。ゲストルーム、トレーニングルーム、夜の庭のプランコ。みんなすてき、そして家族揃ってもてなしてくださいださった心がすてきでした。「トモコさん、トモコさん」と久し振りにあっても我が隊長に対する絆の強さを感じさせられた。

また、年だから、と思うのでなく、いつまでも前向きにと、これからヒマラヤ山行の選考を受けるトレーニング中という会長の姿勢を見習わなくては、と思う。

2日目夕食交流会は金現会長のレストランへご招待いただいた。本場の韓国料理。辛さにも慣れてどれもおいしい。鍋料理の終わりには、日本でもごはんや麺を入れるので、同じだな、と思いつつ味わった。

個室で食事をしていた家族の5、6歳の男児が私達に興味があるらしく顔を出したり引っ込めたりしていたが、ついに話かけてきた。「イルボン サラミ？」答えるけど分らない。多賀さん持参の辞書で《日本人》と分ったので、私日本人と言ひにゆく。多賀さんがおみやげをあけたら、お母さんも一緒にきて、「カムサミダ」と言ってゆく。とても礼儀正しい。

金会長さんには食事だけでなく、山登りでもお世話になった。佐藤（和）さんと私の間にあって、押上げるやら、引っ張るやら足場の位置など教えていただいて助かりました。感謝！です。

移動は昌元の皆さんの中車に分乗して、お心づかい有り難いと思った。韓国には日本語の分る人も多くて感心してしまった。道峰山駐車場迄乗せて下さった朴さんは仕事で日本に来たこヒもあるのだとか

帰りにチャングム施設経由で乗せて下さった、この方も金山の車が渋滞した時、物売りが来て窓越しにせんべいを買って下さった。大きな円形のせんべい。なにかの穀物のほのかな香りと少々の塩味。「カムサハムニダ!」この方は日本語が通じない、私のお札の言葉屋いなか。

「ハムスター」の方は日本語が通じない。松のお札の言葉届いたかな。
まだまだ書き尽くせない様のこと多數。新潟では、天気が悪かった
そうだが、交流会は天気に恵まれ幸運！ 韓国の方々によくしていただいた
のにも、山田さん、佐藤さんははじめ、今迄、交流に力を尽してくださいさつ
た県山協の方々のお蔭と感謝している。今回参加の皆様と楽しい想い出
をたくさん作らせて頂いて 感謝！感謝！！

外川邦子

(山岳同好会新潟望遠)



道峰山の岩峰

目を迎えており、改修が必要となつた。また屋内にも箇所のクライミングボーダー設置の要望を提出した。これらについて協会からご助言などをお願いしたい。

定締結15周年のたび”的
おり。かねてより担当の小
林委員長が作業されていた
が、職場の都合でこれらの
行事に同行できなくなつた
ため、片桐が代わりに作業
を始めた。記載されている
ように、6月に計画したい。
ファミリー登山出版は作業

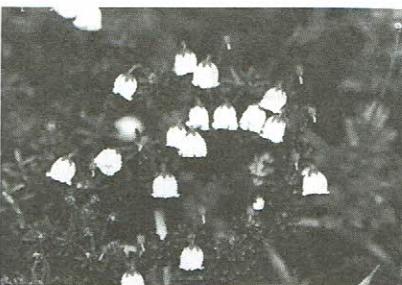
がほとんど終わり、48山が掲載されている。4月28日に書店にて販売される見込み。JTB関東と、イートレーダーの2社が4月より協会ニュースにスポンサーとして協力いただけることとなつた。なお、JTB関東がこの夏に催行する2本

のツアーリレーについては名義
援することとした。
(理事長)

（遠藤新会長）
橋本会長退任挨拶。遠
藤新会長就任挨拶。山田副
会長退任挨拶。
終了挨拶 稲田新副会長
（39名出席）



オオツガザクラ
雪倉岳 (7月31日)



母種 ツガザクラ
白馬岳 (9月16日)

南北アルプスや木曾駒と並んで妙高山の高山帯の岩場に産する。花は球状で大きく、花数は少ない。種名 *alpina* で高山の意。これはツガザクラ *nipponica* (日本) とアオノツガザクラ *aleutica* (アリュウシャン) の雑種で、本来の国際結婚により生まれた種となり、夢が広がる。

属名 *phyllodoce* は葉状茎の意で、ツガの葉状の、葉がびっしり茎についた様であるが、草本ではなく木本の属である。

越後の山に見られる交種植物

おもむろ会 加藤 明文

◆ツガザクラ属 phyllodoce
(12) オオツガザクラ

『やぶ道』(11) 歩き方

杉本 敏



大相撲力士の歩き方が変化して来ているとスポーツジャー

ナルが書いていた。「・・・
かつては両足を斜め外側に向

けて、股から膝、膝から足と
がっしり重心のかかった動き

で、ずりりずりりと地面に食
い込むように歩いていたもの

だが、今見ている力士のは膝
の曲がりも少なく、脚全体が

一本の棒のようによく伸びて、
すたすと真っ直ぐに前に進

む」とある。理由は胴長短足
がら、力士の脚がスラリと長
くなり、スタッと真っすぐ
歩きだした。とある。

思わず下を見る。なんと短
い我が脚よ。相撲取りをスポーテ
ツとして選ぶべきであったの
か。と、判断間違いを悔いて
みる。

相撲に限らず普段の歩き方
にも基本があるようだ。かん
みる。

相撲に限らず普段の歩き方
にも基本があるようだ。かん
みる。

ばしくないのが、生活の中で、
ちよいとした移動の時サンダ
ルを利用すると、スリップ履
きなどと言われる歩き方にな
らないか。赤穂浪士で有名な、
松の廊下をゆらりゆらり脚を引
きするよう歩く方法である。

それに対して、股を上げ、
足を引き上げ、足の裏を力強
く大地にたたきつけるように
歩く方法。足の裏から振動が

内臓に響きわたり、振動の刺
激が内臓の活動を活性化させ
て健康を維持できる。それは
無理のないジョギングでも有
効である。

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

国土交通大臣監修旅行業者登録番号：JATA代理店 (社) 日本旅行業者登録番号
本社 新潟県長岡市中央町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

□長岡営業所

〒940-0084 長岡市中央町1丁目3番5号

TEL: (025)33-7123

□新潟営業所

〒950-0916 新潟市中央区古町通6-976

TEL: (025)246-2266



Your Global Lifestyle Partner



JTB関東 法人営業新潟支店

新潟市中央区古町通6-976

TEL: 025-224-2201 FAX: 025-229-5775

<http://www.jtb.co.jp/shop/houjinniigata/>

※「旅」の最新情報、ご覧になります。

E-mail: h_mitani388@jtb.jp

贊助會員の

日頃県山岳協会の事業について、参画して頂き格別なるご支援を賜りありがとうございます。今年も当協会は、登山を通じて、県民体育の向上と加盟団体相互の親睦融和をはかることを目的として、委員会を設け下記の事業を行っております。本事業を実施するに当たっては、加盟団体の分担金で賄つております。しかししながら、十分な財源を持つて実施されていると言う状況ではなく、場合によつては担当各位のボランティアに依存していると言うのが実情であります。より活動基盤を充実させるために、本会の目的・事業に賛同する方々を個人・団体を問わず、賛助会員とすることが出来ることとなつております。平成19年度に入り、当協会の活動発展を容易とすため、ひきつづき賛助会員を募集する事と致しました。各位におかれましては、ご理解と趣旨ご賛同の上、多数のご入会をお願い申し上げます。

記 一新潟県山岳協会事業 1山岳競技に関する事項。 2県体育協会登山部門に関する事項。

クラブ」、片桐一夫（長岡ハイキングクラブ）、七沢恭四郎（高田ハイキングクラブ）、土田幸雄（長岡ハイキングクラブ）、遠藤家之進正和

ハイキングクラブ)、藤井信(長岡ハイキングクラブ)、内藤修(直江津山岳会)、藤巻道夫(糸魚川山岳会)、馬場潤一郎(協会顧問)
(敬称略、順不同)

行事案内

平成19年度岩登り講習会

加盟団体
スポーツ指導員各位様

平成19年5月1日

初夏の候、各位には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます

初夏の候、各々には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。
今年度も表記のとおり、安全登山と技術向上のための講習会を開催いたします。つきましては、貴団体の皆様にご周知いただき、参加にご高配頂きたく宜しくおねがいします。

なお、この行事は指導員更新認定事業ですので、指導員の方の参加も宜しくお願いします。

		記
1	期 日	6月16日（土）～17日（日）
2	会 場	新発田市内の倉ダム 杉滝岩
3	講 師	日本協スポーツ指導員
4	参加費	1,000円
5	日 程	16日 18時 現地情報交換及び懇親会 テント泊 17日 8時 開会式 8時半 初心者初級中級別に講習会開始 15時 閉会式 現地解散
6	携行品	食料、登攀用具、ロープ等
7	申しびみ	6月13日まで 〒950-0812 新潟市東区豊1-11-20 阿部信一あて TEL 025-273-1572 FAX 273-1588

登山・アウトドアの専門店



ICI 石井スポーツ 新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パームーク
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)116
・営業時間/AM10:30~PM8:00・土曜日

<http://www.parrmark.co.jp>

『新潟日帰りファミリー登山』出版される

17年4月に出版され全国的に発売中、好評の『新にいがた花の山旅』の姉妹本として、ひきつづき新潟県山岳協会の会員たちが地元の利を生かして撮り、執筆した『新潟 日帰り ファミリー登山』が4月末に出版された。

発刊にあつて

本書の刊行にあたっては、姉妹書の『新にいがた花の山旅』に掲載された山と重複しないよう配慮し、50山を目標に出版計画が立てられた。しかし、諸般の事情により48山となつた。

執筆は新潟県山岳協会加盟の各山岳会会員にお願いし、何回かの山の調査、写真撮影を行つていただいた。すべての記録を読んで思えたことは、よく調べていただいたとともに、自分の登つていない山、知らなかつた山がまだまだ多

く、あれも登つてみよう、この山も面白そうとのたくさん興味を抱くことができたことである。うれしい限りだ。本書でガイドされている山々は、大部分が低山・里山である。1時間から2時間もあれば大体の山が登れるようになれる。元気な人であれば土日で3カ所ぐらいはこなせるだろう。そんな山歩きを楽しんでおられる方々は、近年、圧倒的に中高年で、今回の調査でもご夫婦でゆっくりと歩いておられる姿を幾度も見かけた。時間が余裕があるのであれば、皆さんに登山口の温泉宿などに宿泊し、山の味わいを堪能するところができた。時間に余裕がない。子供や孫のためにもエネルギーの大量消費を止めなければならない。山を歩みずみずしく、輝くような生

A5版 1,600円+税 4月下旬発売



はじめませんか?
体よろこぶ山歩き。
地元唐人が教える
穴場的「軽登山＆ハイキング」

新潟日帰りファミリー登山
新潟県山岳協会監修

新潟日報事業社

編集こ書き

新潟県山岳協会副会長
片桐 一夫

▲「美しきは若葉のころよ、
色のたくみ凝らして・・・」
などと晴れた日や、雨の日の、
みずみずしく、輝くような生

詩が多い。自然界への厳しい環境破壊が懸念されている今も、したたるような緑の季節が始まった。

▲里に近い山もマンサク・カタクリ・タムシバなど春先の花々から、アソコや藤、タニウツギの花々が目立つようになった。朴の木も白い塔状の花をつけて芳香をはなつている。

▲アソコの花房の実はアンゴ酒の香りや塩漬けを楽しむ人たちは多い。私は花房の蕾がまだ固いうちに、少し広口のビンに溜まり醤油で漬け込んだ。10日もすると私のさやかな晩酌の膳の一品となる。

業社出版部の佐藤大輔さんは、並々ならぬご苦労をお掛けした。厚く御礼申しあげます。

さて人間社会は21世紀を迎えたが、近ごろ特に地球温暖化による規則正しい季節変化がなくなつたように思う。今後はさらにこの現象が目立つようになるだろう。このままでは22世紀は穏やかにはやつてこない。子供や孫のためにもエネルギーの大量消費を改めなければならない。山を歩

（会報編集 浅野）